

金大中氏への死刑判決阻止に向け



全ての皆様諸君！

さる1月20日夜、韓国からの情報によつて、金大中氏らへの大法陥判決が1月23日朝11時に行なわれることが明らかになつた。

奎ド院大統領は、この間、「金大中氏らを殺す！」という文書的声に、12月以来大法陥判決をひびひにこいたが、ついに韓国民主化闘争・全斗煥体制確立に向けて 金大中氏らへの死刑・重刑判決を行なおうとしているのだ。我々は、こうした策動を、12月期をも上まる文書的か実力的斗争で粉砕しなければならない。そして、なんにとも、金大中氏らへの死刑は株級政黨の張本人日本帝國主義に対する斗争を創出していく。1.23全学集会(12C正門)を突破口に、狹山・三里塚・日韓斗争の大衆的展開をつくりだし、日帝の侵略と侵略に向けた国内再編政黨粉砕しよう。

■ 金大中氏らへの死刑、重刑判決を許さない！

本の偉文な5月光州蜂起をうけつぐ、韓国民衆へ織りたる斗争に、自らの体制の崩壊を恐れる全斗煥軍事独裁政権は、それ自身、なんら展望のない政治アログラム(遊進一国会解散)をうち出している。光州蜂起をうけた5戦士に対する死刑判決、南鮮民族解放戦線事件2「被告」への死刑判決(780.12.24)在日韓国人政局犯5氏への死刑執行の政黨等に、韓国の民主化と祖国の統一をめざすから願う全ての人々への残酷な鮮狂の上に、自らの体制を確立せんとしているのだ。したがつて、そつた展望も、朴体制を支えてきた高度経済成長もない(80の経済成長率-4~5%)現状と、そして、なによりも韓国民主化斗争にこれま

ての斗争を質、量とともにこえた光州蜂起が、韓国への全ての民衆をからえ、全斗煥体制を根底からゆるかにしている。金大中氏らへの死刑、重刑判決をもつて延命せんとする全斗煥に全く未来はないのだ。我々は、不屈に斗争韓国民主化斗争に断乎連帶していかなければならぬ。韓国民主化斗争を築く一切の動きに対して糾弾していかなければならぬ。金大中氏らへの死刑・重刑判決阻止に向けこまう！

■ 日帝の韓国侵略を許さない！

日本帝國主義は、金大中問題での死刑加担をはじめとする犯罪的投擲を演じている。日帝の公意志として昨年の政財界のトッパレベルハ訪韓-全斗煥へテコ入れ(金丸、福田、永野日商會頭、希臘経団連会長等)こそ、「日帝の生命線」として韓国新植民主義支配を維持し、更なる韓国侵略を強行せんとするものに他ならない。

こうした、日帝に対して、韓国学生は「全斗煥を支える日本帝國主義者の追放」をスローガンにして斗争している。我々は、この斗争を断乎として支持し、日帝足下の人権の義務として、日帝との斗争を貫徹していかねばならない。日帝の侵略と侵略に向けた国内再編政黨大急ぎで進んでゐている。金大中氏への死刑加担と、国内での超反動政黨は、まさに一体のものとしてかけられていひだ。我々は、金大中斗争を「侵略阻止」の斗争として貫徹し、三里塚、狹山斗争と結合させて斗争をめざさねばならない。侵略の拡張=三里塚工場を粉砕する斗争、人民の分断的政黨支配を粉砕する斗争=狹山斗争との結合以下、金大中氏死刑判決阻止斗争をまいづらう。1.23全学集会を突破口に1~3月日韓・狹山・三里塚斗争へ決起せよ！金大中氏への死刑執行を何がなんでも阻止しよう。全ての皆様諸君、共に斗わん！

